

岐阜市緊急事態宣言

緊急対策【期間：8/20～9/12】

<現状>

- 8月以降、市内の新規感染者数は、連日10人を超え、7日からの3連休以降は、30人を超える程急増。さらに、17日には、過去最高となる1日当たり101人の感染者を公表するなど、感染爆発によってピークが見えない状況
- 10万人あたり新規感染者数（7日間移動合計）は70.17人（国の基準ステージⅣ）と過去最高値となり、これまでに岐阜市では経験したことのない危機的な状況
- 県内の病床使用率、宿泊療養施設の使用率も急上昇しており、病床使用率はステージⅣの感染爆発に近づいている。岐阜圏域の病床使用率も5割を超えており、病床がひっ迫
- 7月以降、岐阜市内で14件クラスターを確認。「飲食」「職場」「家庭」で発生。医療機関内でもクラスターが発生し、ワクチン接種済の方も感染している

上記を踏まえ、これ以上の感染拡大を何としても食い止めるため、市独自の「緊急事態宣言」を発出し、岐阜県への「まん延防止等重点措置」の実施期間である8月20日から9月12日までの間、県と連携し以下の対策を実施する。

1 市民への危機意識の醸成

- 「岐阜市緊急事態宣言」の発出 市
- 市庁舎における「嚴重警戒」ライトアップを通じた市民への警戒呼びかけ 市
※8月17日19時からライトアップを開始
- 施設の休館による人流の抑制
 - ・市施設（みんなの森 ぎふメディアコスモス、岐阜城、歴史博物館等） 市
 - ・県施設（美術館、図書館、木遊館等） 県※県施設は、原則休館、利用停止とし、既に予約されている分については、中止等を要請することとし、利用される場合に当たっては、感染防止対策を徹底するよう要請する。
- 市が実施するイベント、講座の原則中止または延期 市
- 岐阜市内における県関係のスポーツ大会については原則無観客 県

2 県境をまたぐ往来対策

- 県境をまたぐ家族の帰省、出張、旅行・レジャー等の中止又は延期の徹底 県 市
- JR岐阜駅前歩行者用デッキやハートフルスクエアGにおける感染防止キャンペーンを集中的に展開 市